

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-262333

(P2000-262333A)

(43) 公開日 平成12年9月26日 (2000.9.26)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームト [*] (参考)
A 4 7 B 13/00		A 4 7 B 13/00	B 3 B 0 5 3
37/00	5 0 5	37/00	5 0 5 F

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平11-73593

(22) 出願日 平成11年3月18日 (1999.3.18)

特許法第30条第1項適用申請有り 1998年12月2日 株式会社岡村製作所発行のカタログ「オカムラ総合カタログ1999年度版」に発表

(71) 出願人 000000561

株式会社岡村製作所

神奈川県横浜市西区北幸2丁目7番18号

(72) 発明者 高村 昭宏

神奈川県横浜市西区北幸二丁目7番18号

株式会社岡村製作所内

(74) 代理人 100098729

弁理士 重信 和男

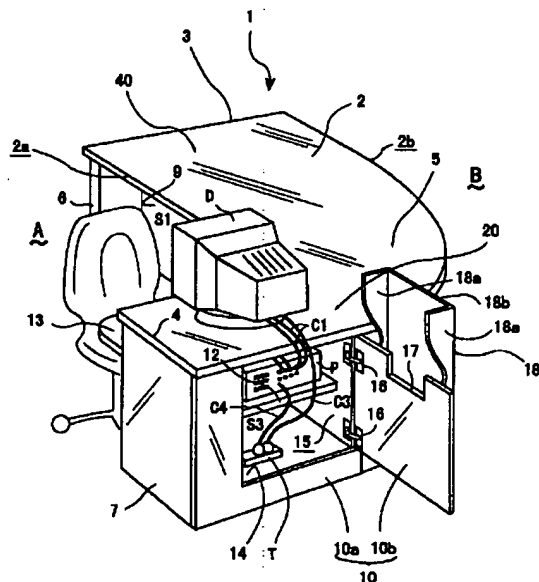
Fターム(参考) 3B053 NND3

(54) 【発明の名称】 配線用カバー体を有する机

(57) 【要約】

【課題】 天板上にディスプレイ等のコンピュータ機器等が載置された場合にあって、机の背面側を体裁良く見せることが出来る配線カバー体を有する机を提供すること。

【解決手段】 配線用カバー体18が、開口17から、天板2上に載置されるコンピュータ機器Dの背面にかけて上下方向に延びるように設けられており、この配線用カバー体18により、天板2の後端部との間に空間部が形成されるので、天板2上のコンピュータ機器Dの背面と、このコンピュータ機器Dから、天板2の後端部を回り込むように配線されるケーブル類C1、C3及びこのケーブル類を挿通する後面板10の開口17とが、配線用カバー体18により連続して覆われるため、机1の背面側の外観が向上する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 天板の下方にコンピュータ機器が収納されるとともに、前記天板の下方の後面を覆う後面板に、前記コンピュータ機器のケーブル類を挿通可能とする開口が形成され、前記コンピュータ機器から前記開口を挿通して天板上に載置される他のコンピュータ機器に接続されるケーブル類を覆う配線用カバー体を有する机において、

前記配線用カバー体が、前記開口から、前記天板上に載置されるコンピュータ機器の背面にかけて上下方向に延びるように設けられており、この配線用カバー体により、前記天板の後端部との間に空間部が形成されることを特徴とする配線用カバー体を有する机。

【請求項2】 前記天板の下方空間の少なくとも一部が、開閉板により背面側に開閉自在に設けられており、前記配線用カバー体が、前記開閉板に取り付けられている請求項1に記載の配線用カバー体を有する机。

【請求項3】 前記カバー体の下部に、下端が前記開口の下端縁に向かって傾斜するテーパ面が形成されている請求項1または2に記載の配線用カバー体を有する机。

【請求項4】 前記天板の下方に、コンピュータ機器設置用の棚部が設けられるとともに、該棚部の後端部と閉塞状態にある前記後面板の内面との間が離間されている請求項1に記載の配線用カバー体を有する机。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、配線用カバー体を有する机に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、パソコンのディスプレイや周辺機器等を、机やカウンター等の天板上に載置して利用することが多いが、特にこれら机やカウンターの後面を、壁やパーティション側に向けて設置出来ないような場合においては、ディスプレイの背面が外部に露呈して見映えが悪くなるため、例えばディスプレイの背面側の天板上にパネルスクリーン等を載置して、ディスプレイの背面が外部に露呈されないようにすることがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、これらディスプレイより延出されるケーブル類が、天板の後端から机の後面に形成される開口を挿通し、天板下方に収納されるコンピューター本体等と接続するような場合においては、スクリーンパネルによりディスプレイの背面を覆うことは出来るが、スクリーン下方に延出されるケーブル類や開口は外部に露呈してしまうため、机の前面の外観が損なわれるばかりか、配線作業等を行う際に、スクリーンパネルが邪魔になるといった問題があった。

【0004】本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、天板上にディスプレイ等のコンピュータ機器等が載置された場合にあって、机の背面側を体裁

良く見せることが出来る配線用カバー体を有する机を提供するものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、配線用カバー体を有する机は、天板の下方にコンピュータ機器が収納されるとともに、前記天板の下方の後面を覆う後面板に、前記コンピュータ機器のケーブル類を挿通可能とする開口が形成され、前記コンピュータ機器から前記開口を挿通して天板上に載置される他のコンピュータ機器に接続されるケーブル類を覆う配線用カバー体を有する机において、前記配線用カバー体が、前記開口から、前記天板上に載置されるコンピュータ機器の背面にかけて上下方向に延びるように設けられており、この配線用カバー体により、前記天板の後端部との間に空間部が形成されることを特徴としている。この特徴によれば、天板上のコンピュータ機器の背面と、このコンピュータ機器から、天板の後端部を回り込むように配線されるケーブル類、及びこのケーブル類を挿通する後面板の開口とが、配線用カバー体により連続して覆われるため、机の背面側の外観が向上する。

【0006】本発明の配線用カバー体を有する机は、前記天板の下方空間の少なくとも一部が、開閉板により背面側に開閉自在に設けられており、前記配線用カバー体が、前記開閉板に取り付けられていることが好ましい。このようにすることで、前記開閉板を開放すれば配線を容易に行えるばかりか、配線作業後に開閉板を閉塞するだけで、ケーブル類が配線用カバー体により覆われる。

【0007】本発明の配線用カバー体を有する机は、前記カバー体の下部に、下端が前記開口の下端縁に向かって傾斜するテーパ面が形成されていることが好ましい。このようにすることで、天板上のコンピュータ機器から延出されるケーブル類を、天板の後端部とカバー体との間の隙間に落とし込むだけで、ケーブル類が開口を介して天板下方の空間内に挿通されるため、配線作業が容易になる。

【0008】本発明の配線用カバー体を有する机は、前記天板の下方に、コンピュータ機器設置用の棚部が設けられるとともに、該棚部の後端部と閉塞状態にある前記後面板の内面との間が離間されていることが好ましい。このようにすることで、天板下方に収納されたコンピュータ機器と、外部電源や他のコンピュータ機器等との接続用のケーブル等を後面板の背面に露呈させることなく配線することが出来る。

【0009】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施例1を図面に基いて説明すると、図1、2には例えば図書館や病院等にて使用される上面視略L字形の受付用カウンターが示されている。このカウンター1は、作業エリアAと来客エリアBとを区画するように設置されるものであり、本実施例においては、図1中左側が受付人の作業スペース

ス20として利用され、右側が来客人に対する受付スペース40として利用されるようになっている。

【0010】図2に示されるように、カウンター1の上部に設置される天板2は、屈曲部5から受付スペース40側の端部3に向かって幅広になるように形成されている。

【0011】天板2における受付スペース40側の端部3の下面には側板6が、作業スペース20側の端部4の下面には側板7が設けられるとともに、屈曲部5の下面にはコーナー部材8が設けられている。

【0012】天板2の下面におけるコーナー部材8の内側面8aと側板6の内面6aとの間には、一方の端部がコーナー部材8の内側面8aにおける外端に当接されて、天板2の外側縁2b寄りに位置し、他方の端部が側板6の内面6aの前後方向略中央部に当接される覆板9が設けられている。

【0013】また、天板2の下面におけるコーナー部材8の内側面8bと側板7の間には、覆板10が天板2の外側縁2bに沿うように設けられている。

【0014】このように、天板2の下方は、側板6、覆板9、コーナー部材8、覆板10、側板7により支持されているとともに、覆板9、10及びコーナー部材8により、天板2の下方の空間が来客エリアB側と作業エリアA側とに区画され、来客エリアB側から作業エリアA側の下方が見えないようになっている。よって、受付スペース40側の天板2の下方は、覆板9を挟んで、作業エリアA側に開放する空間S1と、来客エリアB側に開放する空間S2とがそれぞれ形成されるとともに、作業スペース20側の天板2の下方には、作業エリアA側に空間S3が形成されている。

【0015】図3、4に示されるように、天板2上面にはディスプレイDが載置しており、その下方の空間S3に設けられた棚12にはパソコン本体Pを収納出来るようになっている。また、天板2の下方には、先端が内側縁2aより突出するようにキーボード台13が設けられており、その上面をキーボードKやマウスMの載置台として利用出来る。

【0016】空間S3の背面を覆う覆板10は、固定板10aと開閉板10bに分割されており、この開閉板10bは、空間S3の屈曲部5側の側面を構成する仕切板15の内面に取り付けられた蝶番16を介して、来客エリアB側に開閉自在に設けられている。また、開閉板10bの上端縁における所定箇所には、上端が切れ欠かれた開口17が形成されており、この開口17に配線コードC1及び電源コードC3を挿通出来るようになっている。さらに、開閉板10bが閉鎖状態にある時でも、開閉板10bの作業エリアA側の面と棚12の後縁の間に隙間11が形成されるようになっているので、電源コードC3、C4を下方に挿通出来る。

【0017】開閉板10bにおける開口17の下部に

は、開口17からディスプレイDの背面にかけて覆うように上下方向に延びるカバー部材18の下端部が取り付けられている。このカバー部材18は、左右の側板18a、18a及び背板18bとから、カウンター1側に向けて開放する上面視略コ字形に形成されている。また、側板18aは天板2より上方が開口側に広く形成されており、ディスプレイDの後方側面が覆われるようになっている。

【0018】そして開閉板10bが閉鎖状態にある時、背板18bの内面と天板2の後縁との間に隙間19が形成されるようになっており、配線コードC1及び電源コードC3を挿通出来るようになっている。

【0019】このように、本実施例におけるカウンターにあっては、天板2上面に載置されたディスプレイDの背面と、このディスプレイDから、天板2の後端部を回り込むように配線される配線コードC1、電源コードC3及びこのコード類を挿通する開閉板10bの開口17とが、カバー部材18により連続して覆われるため、ディスプレイの背面のみならず、コード類や開口17が、来客エリアB側に露呈することがないので、カウンターの来客エリア側の外観が向上する。

【0020】また、開閉板10bを開放すれば配線のメンテナンス作業等を容易に行えるばかりか、配線作業後に開閉板10bを閉塞するだけで、コード類がカバー部材18により覆われる。

【0021】さらに、開閉板10bの作業エリアA側の面と棚12の後端の間に形成された隙間11に電源コードC3、C4を挿通して、棚14上に載置されたOAタップTに接続出来るので、電源コードC3、C4を覆板10の来客エリアB側に露呈させることがない。

【0022】次に、図5、6には、本発明の第2実施例が示されている。本実施例における机21は、天板22と、それを支持する左右の脚板23と、背面開口を覆う幕板24から構成されており、天板22上部にはディスプレイD、キーボードK、マウスMが載置されている。

【0023】図6に示されるように、天板22の下方の空間S4に設けられた棚25には、パソコン本体Pを収納出来るようになっている。

【0024】幕板24の上端縁における所定箇所には、上端が切れ欠かれた開口27が形成されており、この開口27に配線コードC1及び電源コードC3を挿通出来るようになっている。また、幕板24の空間S4側の面と、棚25の後縁の間に隙間31が形成されるようになっているので、電源コードC3、C4が挿通出来る。

【0025】幕板24における開口27の下部には、開口27からディスプレイDの配線部分にかけて覆うように上下方向に延びるカバー部材28が取り付けられている。このカバー部材28は左右の側板28a、28a及び背板28bとから、机21側に向けて開放する上面し略コ字形に形成されている。また、側板28aは天板2

2より上方が開口側に広く形成されており、ディスプレイDの後方側面が覆われるようになっている。

【0026】背板28bの内面と天板22の後縁との間に隙間29が形成されるようになっており、配線コードC1、C2及び電源コードC3を挿通出来るようになっている。

【0027】このように本実施例における机にあっては、天板22上のディスプレイDのケーブル接続部分と、ディスプレイD、キーボードK、マウスMから、天板22の後端部を回り込むように配線されるケーブル類及びこのケーブル類を挿通する幕板24の開口27とが、カバー部材28により連続して覆われるため、机21の背面側の外観が向上する。

【0028】本実施例におけるカバー部材28の背板28bの下端には、開口27の下端に向かって下方に傾斜するテーパ面30が形成されているため、メンテナンス時等において、天板22上方からコード類を隙間29に落とし込むだけで、このコード類の端部が、テーパ面30により開口27を介して天板下方のパソコン本体P収納部内に導かれるようになっている。

【0029】以上、本発明の実施例1、2を図面に基づいて説明してきたが、具体的な構成はこれら実施形態に限られるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲における変更や追加があっても本発明に含まれる。

【0030】例えば、実施例1における開閉板10bは蝶番16を介して開閉自在に取り付けられているが、開閉板10b全体が固定板10aに対して着脱可能に設けられていても良い。

【0031】

【発明の効果】本発明は以下の効果を奏する。

【0032】(a)請求項1項の発明によれば、天板上のコンピュータ機器の背面と、このコンピュータ機器から、天板の後端部を回り込むように配線されるケーブル類、及びこのケーブル類を挿通する後面板の開口とが、配線用カバー体により連続して覆われるため、机の背面側の外観が向上する。

【0033】(b)請求項2項の発明によれば、配線を容易に行えるばかりか、配線作業後に開閉板を閉塞するだけで、ケーブル類が配線用カバー体により覆われる。

【0034】(c)請求項3項の発明によれば、天板上のコンピュータ機器から延出されるケーブル類を、天板の後端部とカバー体との間の隙間に落とし込むだけで、ケーブル類が開口を介して天板下方の空間内に挿通されるため、配線作業が容易になる。

【0035】(d)請求項4項の発明によれば、天板上のコンピュータ機器から延出されるケーブル類を、天板の後端部とカバー体との間の隙間に落とし込むだけで、ケーブル類が開口を介して天板下方の空間内に挿通されるため、配線作業が容易になる。

【0036】

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例1のカウンターを示す全体斜視図である。

【図2】図1のカウンターの上面図である。

【図3】図1のカウンターにおける開閉板を開いた状態を示す斜視図である。

【図4】図1のカウンターにおける収納部の断面図である。

【図5】本発明の実施例2机を示す全体斜視図である。

【図6】図5の机における収納部の断面図である。

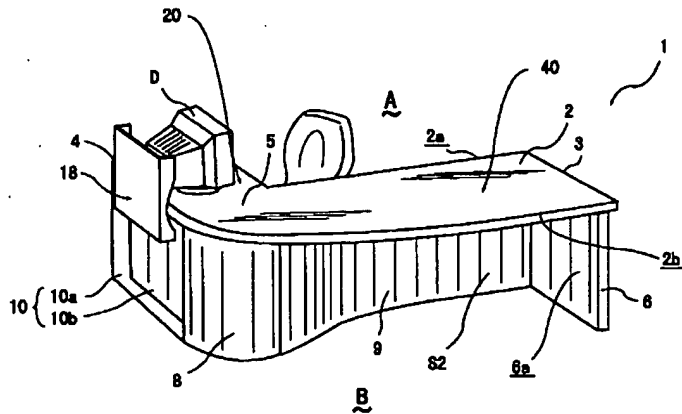
【符号の説明】

1	受付用カウンター
2	天板
2a	外側縁
2b	内側縁
3、4	端部
5	屈曲部
6、7	側板
6a	内面
8	コーナー部材
8a、8b	内側面
9、10	覆板
10a	固定板
10b	開閉板
11	隙間
12	棚
13	キーボード台
14	棚
15	仕切板
16	蝶番
17	隙間
18	カバー部材(配線カバー体)
18a	側板
18b	背板
19	隙間
20	作業スペース
21	机
22	天板
23	脚板
24	幕板
25	棚
26	配線ダクト
27	開口
28	カバー部材(配線カバー体)
28a	側板
28b	背板
29	隙間
30	テーパ面
31	隙間
40	来客スペース

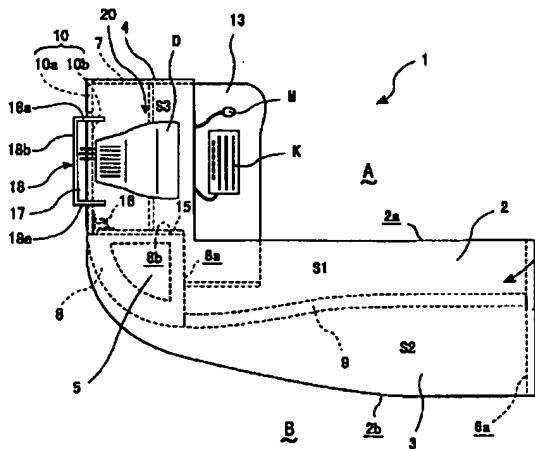
7
S1、S2、S3、S4 空間
C1、C2 配線コード
C3、C4 電源コード
D ディスプレイ

K キーボード
M マウス
P パソコン本体

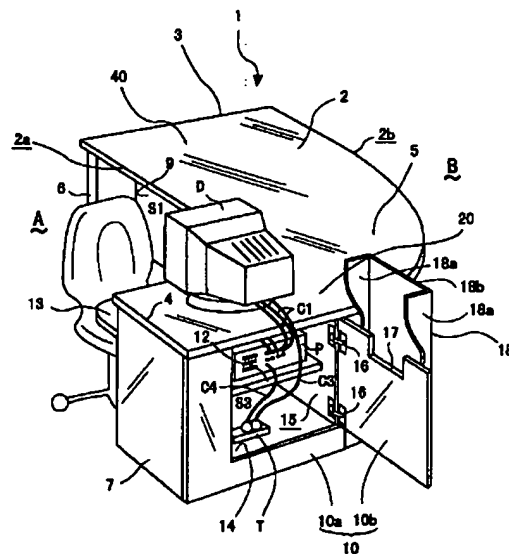
【図1】



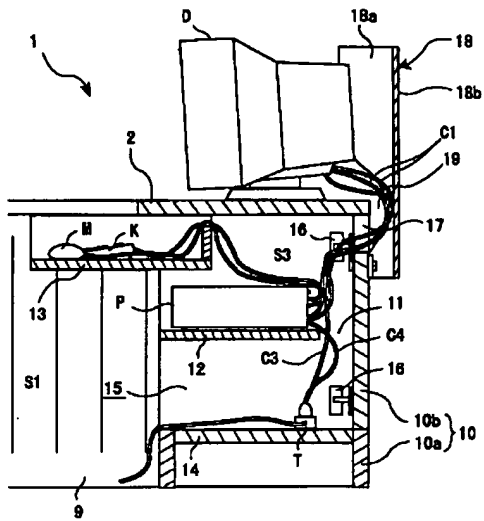
【図2】



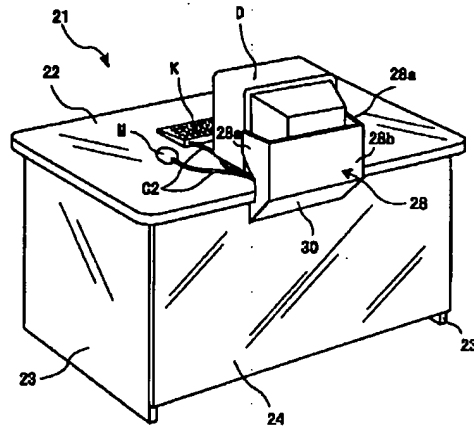
【図3】



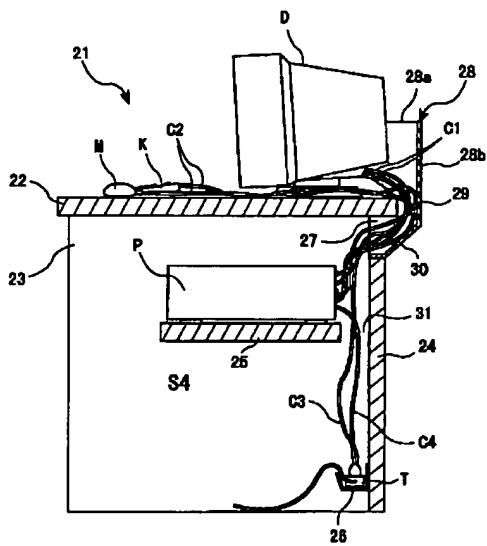
【図4】



【図5】



【図6】



DERWENT-ACC-NO:

DERWENT-WEEK: 200065

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: with cover body for wiring used for
mounting apparatus, has provided on
switching board at rear surface, on lower part of
such that cables extend vertically from

PATENT-ASSIGNEE: OKAMURA SEISAKUSHO KK[OKAU]

PRIORITY-DATA: 1999JP-0073593 (March 18, 1999)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 2000262333 A	September 26, 2000	N/A
006 A47B 013/00		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2000262333A	N/A	1999JP-0073593
March 18, 1999		

INT-CL (IPC): A47B013/00, A47B037/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2000262333A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The cover body for wiring (18) is situated at the back of the computer apparatus (D) mounted on top plate (2). Opening (17) is provided on the switching board (10b) at the rear surface such that the cables (C1) extend vertically from the opening.

USE - For supporting computer apparatus.

ADVANTAGE - The external appearance of the desk is good and the wiring

operation is simple.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure represents the perspective diagram showing the condition of having opened the switching board of the desk.

Top plate 2

Switching board 10b

Opening 17

Wiring cover body 18

Cable C1

Computer apparatus D

CHOSEN-DRAWING: Dwg.3/6

TITLE-TERMS: DESK COVER BODY WIRE MOUNT COMPUTER APPARATUS OPEN
SWITCH BOARD

REAR SURFACE LOWER PART DESK CABLE EXTEND VERTICAL OPEN

DERWENT-CLASS: P25 T04 X27

EPI-CODES: T04-L07; X27-A03;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2000-494712